

TimeSpace

クローバーの「時×空」投資

クローバー・アセットマネジメント株式会社 月次レポート 2023年3月31日基準

★「クレディ・スイスの破綻に学ぶ」

最近、金融機関の破綻のニュースが世界を駆け巡っています。最初はシリコンバレー銀行、そしてクレディ・スイスと続きましたが、今回はアメリカ、スイスの各中央銀行も驚くほど機敏に対応しました。シリコンバレー銀行の場合は、本来約束されていたはずの金額の上限を大幅に撤廃し、なんと無制限に預金を保護することを決定。クレディ・スイスに至ってはUBSに買収されることになりました。スイス最大の銀行が第二位を飲み込んでしまうというウルトラCが、これほど短期で決定されたことには驚きです。しかも、株主の権利は一部守られる一方、本来株式よりも上位にあると思われるAT1債という約2兆円相当もの特定社債が無価値なという前代未聞の条件つきです。アメリカ、スイスとも禁じ手ともいえる手段を駆使して、しかもこれだけ短期に対応したことに、事態の深刻さが伝わってくるような事件でした。

ただ、AT1債は信用リスクのある銀行が、自己資本比率を上げるための打ち出の小槌のように全世界で広く利用されていた調達手段であっただけに、今後その影響

の大きさが懸念されます。特に、今後資金調達を必要とする金融機関がこの手法を使いにくくなるといった問題や、AT1債に投資している世界中の金融機関や機関投資家への信用不安に波及するリスクもあり、予断を許さない状況と言えます。

もともと、スイスの銀行というと、かつての匿名口座と並んで、その手堅さによる安全性が、世界から膨大な資金を集める原動力になっており、元来、資産を増やすことよりも資産の保全を最優先にしていました。彼らが考えるリスクは4つあり「戦争」、「インフレ」、「社会動乱」、そして最後がリーマンショックの様な「経済危機」です。特に最大のリスクである「戦争」は、二度のヨーロッパを起源とする世界大戦の間、中立を守り、顧客の資産を守りぬいた信頼がスイスの銀行の大きな価値となっていました。

また、銀行の収入源も、手数料ではなく顧客の預かり資産に対して一定比率をもらうことをベースにしていたので、彼らが、自らの業績を上げようとすると、長期で顧客の資産をしっかりと増やすことというように、顧客と長期のウインウインの関係を築いていました。お客様とお付き合いも、祖父から、父親、そしてその子供といったように、何世代にもわたる長期のお付き合いが一般的だったようです。

厳密にいうと、今回破綻したクレディ・スイスは元々プライベートバンクからスタートしたものの、その後貸し出しや投資を行って広く業務を拡大していたという点で伝統的なスイスのプライベートバンクとは異なり、他国の商業銀行と同じカテゴリーになります。ただ、伝統的なプライベートバンクにおいても、私がスイスに赴任

した20世紀末頃になると、米流の金融機関の影響を受け、手っ取り早く手数料を稼ぐスタイルが横行しはじめていました。例えば、利幅の大きい銀行独自の商品の販売を銀行員に強要し、販売成績の悪い人間はリストラの対象となるなど、長期のお客様や社員との信頼よりも、目先の利益を追求するなど、すっかり様変わりしてきます。実際、我々がお付き合いのある担当者も次々と変わったりと、転職していくなど、かつての古き良きスイス銀行の面影は失われていったのです。さらに、集金力の最大の武器だった匿名口座がアメリカ等の圧力で無くなると、目先の利益を追っていた銀行や、お客様の資産を増やす運用力の無い銀行からは、顧客の資産や優秀な銀行員が離れていったようです。

投資の世界でも、ついつい目先の利益を追求しがちになりますし、投資先の企業に対しても、急激な業績や株価のアップを求めがちです。しかし、短期で大きな利益があったということは、その逆もしかりです。また、企業においても短期で数字を追求するなかで、必ず無理が生じ、やがて大きな歪となって破綻の元凶となることがあります。クレディ・スイスの不正問題や巨額の損失はまさにその顕著な例でしょう。今回のクレディ・スイスの破綻から、目先の利益の最大化を貪欲に追求したものの末路がいかなるものかをしっかりと学び、長期投資に活かしたいものです。



多根幹雄



YASUの

マーケット・ストラテジー

3月は、米シリコンバレー銀行の経営不安から預金の取り付け騒ぎが起き、世界中の銀行株に売りが波及するなど混乱の月となりました。特に大打撃を受けたのは地銀株で、グローバル地銀株指数は前月比30%以上も下落しました。FRBや米国連邦預金保険公社などによる迅速な介入により相場はある程度安定しましたが、欧州では混乱の中で株価が暴落したクレディ・スイスの経営破綻を回避するためイス中銀が直接介入し、UBSがクレディ・スイスを買収するに至りました。

こうした状況は当然金利にも大きな影響を与えました。幅広い年限の米国債が売られました。特に2年債利回りは数日間で5%から3.9%に下落しました。非常に神経質な市場環境の中、投資家の警戒感から債券のみならず株式市場も下落しました。為替市場では米金利の急低下によって日米金利差が縮



Source: Bloomberg

小したため、一部の投資家はキャリートレードのポジションを解消せざるを得ず、これが円高圧力になったようです。今まで日米の金利差を活用してキャリートレードをしていた投資家の中には、戦略を見直す人も出てくることでしょう。ハイイールド債市場も大きく変動し、これまでも拡大傾向

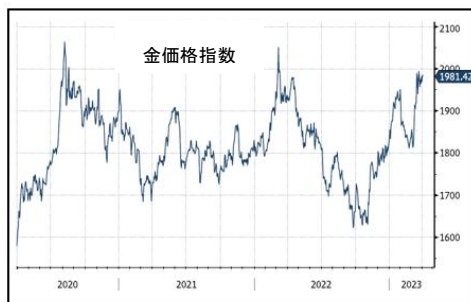


Source: Bloomberg

にあった米国債と米ハイイールド債の利回り差は、今回の事態を受け拡大しました。今後ハイイールド債にも徐々に手ごろ感がでてくると思われませんが、足元でディストレス債の発行件数が急速に膨らんでいることを考えると、そこに至る前に債権者や債務者はもう一段厳しい状況を乗り越える必要があるかもしれません。

こうした中、株式市場は中銀の救済策に安堵する一方、実際のグローバルな金融市場に対する警戒感から一進一退の動きを見せています。こうした金融環境の悪化は銀行の貸し出し態度の厳格化につながる可能性があり、すでに統計からも銀行による融資意欲が急激に低下していることが確認できます。一部では、こうした金融機関による貸し出し態度の厳格化は、米中銀による金融引き締め政策を肩代わりするとの見方もありますが、それでも、FRBは0.5%の金利引き上げに動いたECBに続き、0.25%の利上げを実施しました。ただし、今後銀行セクターがさらなる混乱に陥った場合には、FRBは金融システムを安定化させるため、インフレ目標を2%から許容範囲である3〜4%に引き上げる可能性もあると考えています。

市場の混乱を背景に、安全資産である金は前月比10%程度反発し、VIX（恐怖指数）を売り買いくるリスク軽減戦略のファンドも上昇しました。しかし、一旦信用不安が後退すれば相場はリスク選好に



Source: Bloomberg

転じ、これらの資産は売られるでしょう。ただし、まだ危機の最悪期が過ぎたと断定するのは早計です。歴史が繰り返されるのであれば、株式市場ではさらなる調整の可能性もあります。実際、リーマンショック後、株価は4割下落した後、底を打つまでに半年程度の時間を要しました。今回は政府や中央銀行が迅速に対応し市場の安定化を図ろうとしているため、前回とは異なるとの見方もありますが、いずれにせよ、市場は景気後退の予想を織り込み始めています。多くの矛盾したシグナルによって市場の不透明が増しており、我々も含めて市場参加者の間でも戸惑いが見られますが、クローバーでは株式や債券関連商品の選別を行い、次の買い場に備えた準備を始めています。特に企業のファンダメンタルズを重視したファンドや、いわゆる「新興欧州」のような、アナリストのカバレッジが少ない「見落とされた」国やセクターに投資機会があると考えています。そして、米国債と米ハイイールド債の利回り差がさらに拡大した時には、ハイイールド債も投資対象として面白くなるかと考えています。



樋口恭信

★紅茶を飲みながら考えたこと

皆さんは普段、紅茶を飲まれますか。私は飲み始めてもう40年以上になります。私が社会人になって最初に勤務した会社（大阪市北区堂島）の近くにティーハウスムジカがありました。リーズナブルな値段で美味しい紅茶が飲めて居心地がよく、昼休みや会社帰りによく行きました。しっかりとした味の紅茶はケーキやサンドイッチなどと相性がよく、本当にお世話になりました。ムジカは10年前に堂島から兵庫県の芦屋に移転し、マスターも代替りしましたが、86才になられた先代は今もお元気で時々お茶会を開いておられます。

そのお茶会で聞いた紅茶の話を少し紹介します。紅茶は1971年に自由化され、海外ブランドの紅茶が次々と輸入されるようになりました。比較的高価で高級なイメージがあったため日常生活からは遠い存在として認識されてきました。その傾向は今も続いています。そして、最初に紅茶の淹れ方として「茶葉を茶こしに入れて湯を注ぐ」と紹介されたため、紅茶は色がついたお湯と誤解され、残念ながら本来の紅茶のおいしさはあまり理解されませんでした。それでもムジカの常連さんのようにしっかりとお茶の成分を抽出した紅茶を楽しむ人はある程度いて、ずっと変わらずに紅茶を飲み続けていま

す。一説によると、このような人は日本の総人口の5%程度と言われています。それ以外の方々にとっては紅茶は残念ながら縁遠い飲み物になっているため、専門店以外では紅茶は残念な形で提供されることがほとんどのようです。この話を聞いた時に長期投資のことに似ているなど考えていました。紅茶も長期投資も「本物」は知る人ぞ知る存在で、それを提供するお店や会社も知る人ぞ知る存在になっているように思います。

紅茶は単なる嗜好品ですし、資産運用もそれぞれのスタイルがあると思いますが、こんなやり方もあるということがもっと広く知られるようになってほしいです。そうすれば、提供する側も変わってくるのではないのでしょうか。紅茶、長期投資ともこんなやり方があるということを私も微力ながら広めていけたらと考えています。



ちなみに、「普通に紅茶を淹れる」とは、あたためたポットに、正しい分量の紅茶を入れ、沸騰したての熱湯を注いで蓋をして、3〜5分蒸らすだけです。一杯分の紅茶の分量は180ccのお湯に対して3〜5g（ティーバッグなら一個）、一人分でも二杯以上を一度に作ってください。

藤林敏史

長期投資を紅茶に例えるなんて、藤林さんならではのですね。いろんなことに深くのめりこんで、ゆっくりしっかりと楽しんでいく雰囲気をお持ちです。この紅茶専門店の方とも、長いお付き合いをされてるんでしょうね。まさに、長期投資です。

かなり前になりますが、大阪でのセミナーの時に「夏休み絵日記」企画（私の思い付き）で、お集りの皆さんにスライドを交えて報告していただくイベントを行った時のことです。藤林さんは、富良野のラベンダー畑の話をしてくださいました。その経営者の方とも直接交流されているというお話でした。話がありにも印象深く、昨年夏、やっと家内と富良野に行ってきました。お話を聞いていたので何倍も楽しめたと思います。

また、昨日は、家内と銀座に来ていたんですが、なんとなく紅茶専門店に入って、めったに買わない高級茶葉を買ってしまいました。

磯野

3月のマーケット概要

前月2月半ばから3月の米国株式市場は、乱高下となりました。2月1日に、それまでのインフレ減速を受けて、FRBは利上げを最小単位+0.25%に決めました。その後、強めの経済指標が続き、「次の利上げは+0.50%であるべき」とのコメントがFRB当局者から聞かれ、株価は下落を始めます。3月に入って+0.50の利上げを織り込み株価は一旦上昇を始めますが、シリコンバレー銀行の破綻をはじめとする金融不安で、株価は世界的に下落、結局3月22日のFRBの利上げは、+0.25%となりました。その後、発表された2月の米国消費者物価指数も+6.0%と減速し、インフレ懸念が後退して、むしろ株価は月末に向けて大きく上昇し始めました。

日本株式市場は、3月初旬は大きく上昇しましたが、世界的金融不安を受け大幅に下落しました。中旬からは、米国株式市場に、つれ高となりました。

コドモファンド

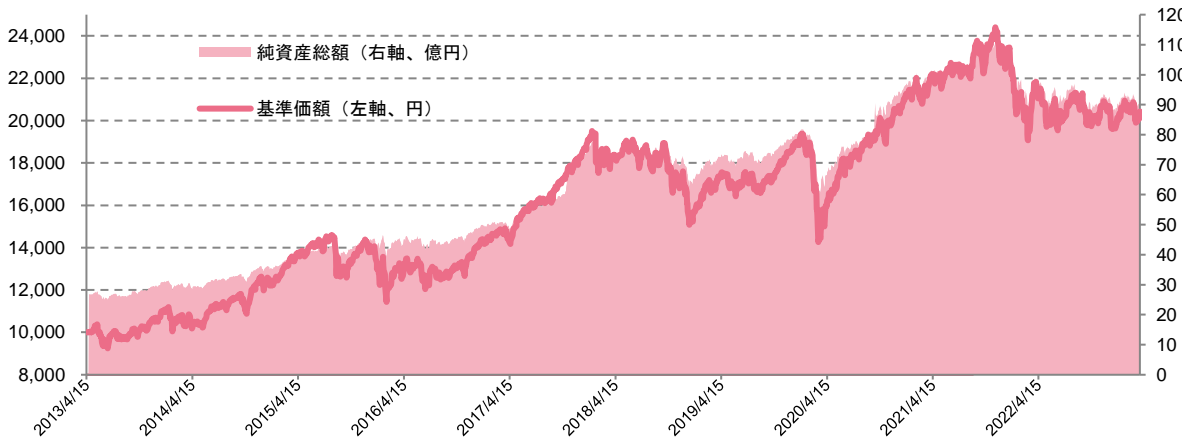
変幻自在ずーっとおまかせ

【3月の運用コメント】

SBIネクスト、コムジェスト世界株式、同ヨーロッパが貢献しましたが、コドモファンドの基準価額は、前月比は、+0.18%と微増に終わりました。たっぷりキャッシュを準備して、下落のタイミングを待っているところです。

基準価額と純資産総額の推移

組み入れファンドTOP5
基準価額の前月比

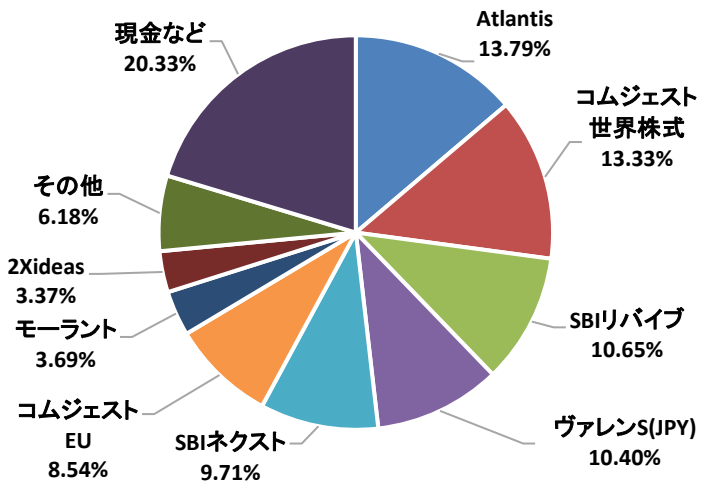
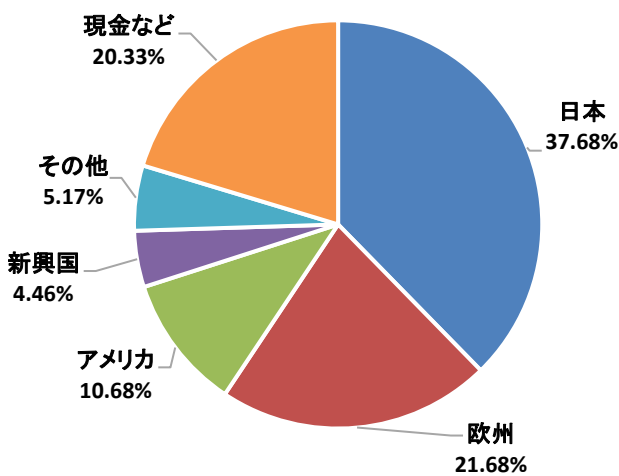


Atlantis	0.16%
コムジェスト世界株式	1.35%
SBIリバイブ	1.73%
ヴァレンS(JPY)	-2.89%
SBIネクスト	2.72%

コドモファンド概況

基準価額	20,427円	信託期間	無期限
純資産総額	9,164百万円	決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)
設定日	2013年4月15日		

資産構成比率(組入ファンド全12本)(左:国別、右:ファンド別)



期間別騰落率(%)

1カ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	10年	設定来
0.18%	3.66%	2.31%	-6.22%	30.66%	12.60% (複利年率) (2.40%)	- (複利年率) (-)	104.27% (複利年率) (7.43%)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用
(信託報酬)

年率1.10%(税抜き1.0%)

組み入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.75±0.5%(税込/概算)

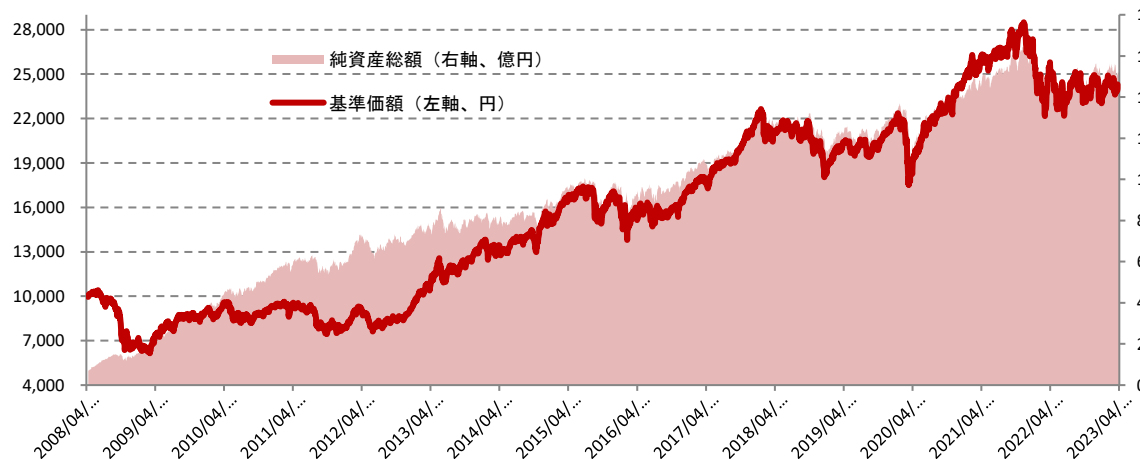
浪花おふくろファンド

じっくりどっしり長期運用

【3月の運用コメント】

SBIリバイブ、コムジェスト世界株式、同ヨーロッパが貢献しましたが、おふくろファンドの基準価額は、前月比は、+0.88%と微増に終わりました。たっぷりキャッシュを準備して、下落のタイミングを待っているところです。

基準価額と純資産総額の推移



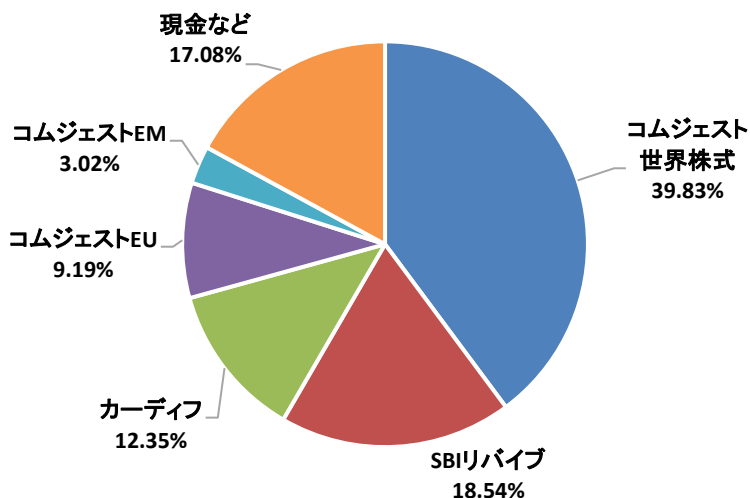
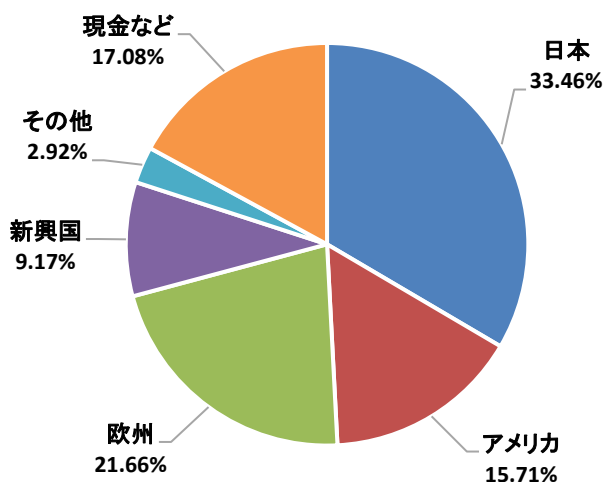
組み入れファンドTOP5 基準価額の前月比

コムジェスト世界株式	1.35%
SBIリバイブ	1.73%
カーディフ	0.47%
コムジェストヨーロッパ	1.61%
コムジェストエマージング	-1.83%

浪花おふくろファンド概況

基準価額	24,299円	信託期間	無期限
純資産総額	1,540百万円	決算日	毎年3月3日
設定日	2008年4月8日		(休業日の場合は翌営業日)

資産構成比率(組入ファンド全5本)(左:国別、右:ファンド別)



期間別騰落率(%)

1ヵ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	10年	設定来
0.88%	4.02%	4.05%	-4.65%	29.70%	16.22%	127.97%	142.99%
					(複利年率)	(複利年率)	(複利年率)
					(3.05%)	(8.58%)	(6.10%)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用 (信託報酬) **年率0.99%(税抜き0.9%)**
組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.65±0.5%(税込/概算)

コモファンド・浪花おふくろファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

設定・運用・販売はクローバー・アセットマネジメント株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2727号

※比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

☆クローバーフェイスブックから

☆クローバー長期投資セミナー①

クローバー長期投資セミナー「投資政策セミナー2023」3月17日ネット参加12名、対面参加2名で開催いたしました。今回は、ジュネーブから来日している樋口が対面参加となりました。

まず、私（磯野）から、先月の状況の説明、コドモ、おふくろファンドともわずかな下落となりました。米国市場は、前半は、1月から

2月のファンドの成績

2023年2月28日基準	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
■基準価額					
おふくろ	-1.62%	-2.21%	-0.69%	2.51%	15.56%
コドモ	-1.32%	-1.95%	-1.97%	0.77%	18.02%

おふくろ 組み入れファンドTOP5
基準価額の前月比

コムジスト世界株式	-0.34%
SBIリバイ	-2.61%
カーディフ	-8.11%
コムジストEU	2.22%
コムジストEM	-2.91%

現金比率 17.12%

コドモ 組み入れファンドTOP5
基準価額の前月比

Atlantis	-5.24%
コムジスト世界株式	-0.34%
ヴァレンS(JPY)	-0.36%
SBIリバイ	-2.61%
SBIネクスト	-3.60%

現金比率 20.37%

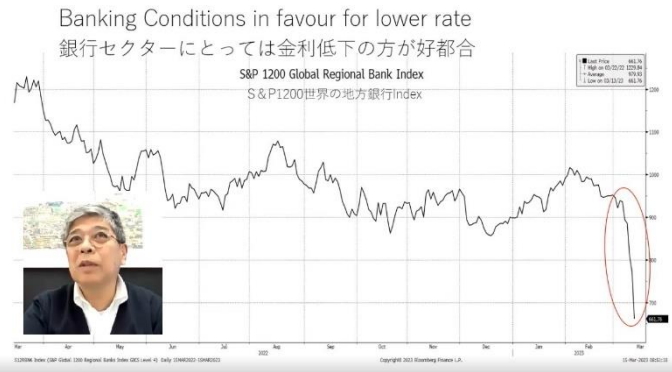


の経済指標の鈍化で、ゆるやかな上昇で始まりましたが、月半ばに発表された1月小売売上先月比の上振れや、新規失業保険申請件数の減少などで経済が高進している状況となり、強めの利上げ

(0.25↓0.50)の機運となり、株価

は下落しました。月が替わって10日には、昨年からの金利の急激な上昇により、保有している債券の大幅な含み損を抱えるシリコンバレー銀行等が破綻し、金融機関の信用不安で世界的に相場が大きく下落しました。バイデン大統領は「米金融システムは安全」との声明を出し、預金者保護を約束しましたが、連鎖的な信用不安が完全に払しょくされたわけではありません。不安定な状況ですが我々にとっては、おおきな買いのチャンスになると思っています。

樋口からは、世界の地方銀行の株価が30%



を超える大きな下落となったと報告がありました。SVB銀行や、その後のクレディ・スイスの件についても、国や各組織が適切に十分に対応することを約束しているのだから、個別問題はないが、個別

の問題はしばらく続くかもしれない。FRBは、インフレの最終目標を2%を上回るところに変更するかもしれない。いずれにしても、今は、タイミングを見て、現金比率を減らしていく方向との説明がありました。交流会は、対面のお客様と近くのリーズナブルな居酒屋で盛り上がりました。



上記のQRコードから2023年3月17日投資政策セミナーのアーカイブ動画をご覧ください。
※動画は4月13日までの期間限定公開です。

☆クローバー長期投資セミナー②

4月7日(金) 18時30分クローバー長期投資セミナー「中小型成長株投資の意義と魅力について」と題して、SBIイコール、ネクスト、リバイブの投資助言をされているエンジェルさんの登場です。年間100社ものインタビュをされているのでお忙しい中、この季節にセミナーをお願いしています。

今回は、チーフインベストメントオフィサーの内藤さんお一人にご説明いただきました。

内藤さんから「なんとと言ってもこの一年、米国を中心に、インフレ対応に中央銀行が政策金利を上げていく局面にあり、日本株式市場に上場のグローバル株を主に組み入れている3ファンドは、なかなか成績が上がらず残念な状況でしたが、利上げも終盤になってきて、やっと息を吹き返しつつある。」「理不尽にグローバル株というだけとにかく売られるという事態が続いていた。」「米国のナスダック指数よりは3ファンドの上昇率の方が良かったです。」「相場の状況に、左右されず、我々は実直に、企業経営者をインタビュし続け、将来的に株価が伸び続ける会社を組み入れていくだけ。長期で見

<ご参考情報:物色動向の特殊性(1/2)>

(2021年4月1日~2023年3月31日)

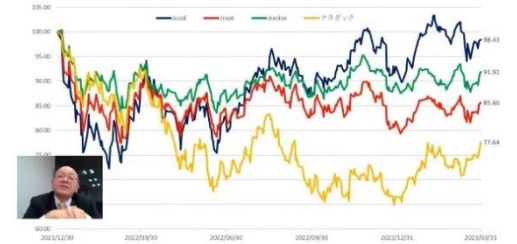
2021年の年末以降、米長期金利が上昇するなか、株式市場ではバリュースト株優位の相場展開が鮮明に。



「相場の状況に、左右されず、我々は実直に、企業経営者をインタビュし続け、将来的に株価が伸び続ける会社を組み入れていくだけ。長期で見

<ご参考情報:Jシリーズと海外株価指数の動向 2022年1月~2023年3月> (2022年1月4日~2023年3月31日)

しかしながら、最もインフレ動向と米金融引き締めが意識された2022年1月以降でも、海外のグロース株代表といえる米ナスダック指数との比較では、大きくアウトパフォーム。さらに、足元では既にJcooがいち早く回復してきていることが明確に。



私は良く聞こえませんでしたでしたが、とにかく盛り上がりしました。

今後のセミナーについては弊社ホームページ、または本誌8ページのセミナーのご案内をご覧ください。



桜の間から臨む姫路城

れば、必ず上昇局面が来るので、むしろ買い場と

「見てみる」とのお話。なかなかたのしいお話でしたが、我々も、常々言っていることで、心強く感じました。

交流会は、近くのパキスタンの方がやっている居酒屋で9名で開催しました。お店が大賑わいで

★新入社員紹介

はじめまして。4月1日付の人事異動でパリミキホルディングスより参りました石渡香奈と申します。

私は、神奈川県横須賀市で生まれ育ちました。横須賀といえば、ペリー来航(浦賀)や、小泉前首相の地元として知られていますでしょうか。海が近く温暖な気候で過ごしやすい所です。

趣味は「音楽」で、幼い頃よりピアノを習い、学生時代は吹奏楽部でクラリネットを吹き、音楽は毎日近くにあります。社会人になってからは、専ら聴く方専門ですが、時間が許せばまた演奏を始めたかと思っております。旅行に行くことも好きです。新たな景色、文化に触れると世界が広がり、リフレッシュできます。コロナが落ち着き始めましたので、海外にも出てみたいと思っています。

出向元のパリミキでは、店舗で眼鏡の販売や、本部では様々な部署で多岐にわたる仕事をさせて頂いていただきました。お客様の未来の為に、お困りごとを解消し安心していただけるように、また、店舗での滞在は楽しかった、利用して良かった、と思っていたいただけるように直接、間接的に努めてまいりました。新たに金融の世界に入りましたが、これまで培った精神を失わず、投資家のみならずの幸せのお手伝いができるように精進して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

石渡 香奈





クローバー 投資政策セミナー 2023.4

2023年
4月14日(金)
18:30~20:00

対面セミナー

対面：定員22名 〈東京〉

セミナー参加費：無料

(対面セミナー後の交流会参加費：2,000円程度)

会場：東京スクエアガーデン6階
京橋環境ステーション内 研修室1

東京都中央区京橋三丁目1番1号東京スクエアガーデン6階

ネット中継

ネット：定員30名

セミナー参加費：無料



磯野 昌彦 (専務取締役)
多根 幹雄 (代表取締役社長)
樋口 恭信 (チーフ・ストラテジスト)



“Growth is the best Value” ~成長企業への投資こそが価値を創出~

2023年
4月21日(金)
18:30~20:00

対面セミナー

対面：定員22名 〈大阪〉

セミナー参加費：無料

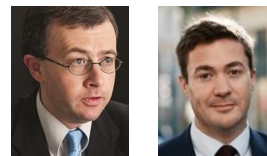
(対面セミナー後の交流会参加費：2,000円程度)

会場：パリミキ アメリカ村店2Fサロン
大阪府大阪市中央区西心斎橋2丁目10番30号
蔵人西心斎橋ビル2階

ネット中継

ネット：定員30名

セミナー参加費：無料



コムジェスト・アセットマネジメント
アナリスト兼ポートフォリオマネジャー
ザック・スメルチャク氏 (Zak Smerczak)
アナリスト兼ポートフォリオマネジャー
リチャード・ケイ氏 (Richard Kaye)



たねころ山キャンプ 2023春

2023年
5月13日(土)

【テント泊】11:00 ~ 翌11:00
【日帰り】11:00 ~ 15:45

【参加費用】

テント泊：10,000円(テント、寝袋、朝食付き)
日帰り：3,000円

【定員】

50名(宿泊は20名)



ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。
投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様にご帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はありません。

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡しますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当社でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料中に示された数値は、作成基準日現在において入手可能なデータを参照し、弊社にて計算しております。

クローバーから大切なお知らせ

業務管理部からのお知らせ

「取引残高報告書(定期交付)」・「ご投資状況のお知らせ」の発送について
「取引残高報告書(定期交付)」・「ご投資状況のお知らせ」を電子交付、郵送いたしました。

「取引残高報告書(定期交付)」は四半期毎に作成され、その期間のお取引を記したものです。

今回は2023年1月~3月末までにお取引(売買等)があったお客様および期間中にお取引がなくても残高がある場合には、最後のお取引から1年が経過したお客様が送付・電子交付の対象となっております。

【ご登録内容の変更はございませんか?】

いよいよ新年度がスタートしました。お引越など新生活が始まり忙しい方もいらっしゃるかと存じます。

ご転居等によりご住所、ご連絡先に変更はございませんか。

お取引に関する重要な書類や大切なお知らせなどがお届けできなくなりますので、変更がございましたら、「登録事項変更届」の用紙を弊社ホームページ・マイページまたはお電話にてご請求の上、変更手続きをお願いいたします。

なお、メールアドレスのご変更は、弊社ホームページ・マイページ上またはお電話でもお手続きが可能です。

※海外転勤等で日本非居住者となるお客様※

海外転勤等で日本非居住者となる場合、**ご出国前までに所定の手続きが必要となります**ので、お早めにご連絡いただきますようお願いいたします。

【毎月つみたてスケジュール】

次回引落日は、5月8日(月)

5月分金額変更・中止・再開締切日... 4月20日(木)

6月分新規・口座変更締切日... 4月28日(金)

※GWに伴い、締切日が通常より早くなっておりますのでご注意ください。

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話でも承っております。

クローバー・アセットマネジメント株式会社

(受付時間:平日9時~17時)

お客様専用通話料無料ダイヤル:0800-5000-968

E-mail: gyoumu@clover-am.co.jp